2026 年 1 月 26 日発行

すてっぷ だより

No.86

編集　　社会福祉法人すてっぷ　PC班
〒379－2164 群馬県前橋市東上野町 136 番地 1
TEL 027-290-6161　FAX 027-290-6162　https://s-step.com　E-mail contact@s-step.com

理事長あいさつ

新年あけましておめでとうございます。

年末仕事納めとなった 12 月 26 日に法人本部とわーくはうすすてっぷで恒例の大掃除とワックスがけを行いました。25 年前に新築した際に県産木材を使い、バリアフリーかつ温かみのある建物にしました。車いすや補装具を使っている方も多いので、建物は土足で利用します。当然、汚れや傷みも激しいのですが、木の床は利用される方々の足にも優しく好評です。これを長持ちさせるために当初から自然素材のワックスを年に１度塗っています。自然素材のワックスは乾くのに時間がかかるので長期休みの前にやるのが恒例になっていて、職員皆で分担しての大仕事です。

大掃除をすると大切にとっておきながらも埋もれてしまっていた資料なども出てきます。今年は、「成功の３条件＝幸せの３条件」というプリントを発見しました。

すてっぷは、社会福祉法人を設立する前から「研修好き」でした。先駆者の講話を聞きに出掛けたり、自分たちが学びたい講師を招いて職員研修をしたり・・・。そんな中で数年前に開いた職員研修の資料の中から大切な１枚として取り出して保存しておいたものでした。ある企業の創設者の言葉で現在では様々な業種の研修で引用されています。

新人でもベテランでも、とても大切なことだと改めて思いましたので、新年のご挨拶の場ではありますが、今年一年「すてっぷ」で大切にしていきたい考え方としてご紹介します。

「成功の３条件」

① すなお：知ったかぶりをせずに人の意見を否定せずに聞く耳をもつ。
「ありがとう」「ごめんなさい」が言える。

② プラス思考：できない理由を探さずにどうやったらできるかと考える。
自分も他者も否定せずに何事も感謝の心で受け止める。
自ら良いことを実行・発信する。

③ 勉強好き：どんな人からも学び、物事を深く考える。
自分の言葉で書いてみる・話してみる・意見を言う。
年に一度は「一流」を体験する。

2026 年が平和で幸せな一年となりますように。

理事長　坂柳幸子

2025 すてっぷ祭り開催

11 月 15 日（土）すてっぷ祭が開催されました。

当日は小春日和の中、たくさんの皆さまにご来場いただきました。毎年恒例のパン作り体験、同時開催のハンドメイド展の開始を皮切りに、６団体によるステージ披露があり、盛り上がりました。今回、利用者有志による「すてっぷコーラス隊」がひさしぶりにステージに登場し、会場の皆さんに歌声を披露しました。

各事業所によるフレンチバケット、飲み物、山賊焼き、カレー、ヨーヨー釣り・型抜きなどの屋台販売。キッチンカーによるピザ、ラーメン、クレープも販売され盛況でした。

また、地域散策を楽しむマラニックに 20 名が挑戦！準備運動後、５つのミッションをクリアーしてゴールしました。

お祭りを支えてくださったすべての関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

すてっぷコーラス隊の歌声

マラニックに向け準備運動

チャリティーハンドメイド展報告

昨年６月の後援会総会で役員が新しくなり、後援会会長として最初の行事となる「チャリティーハンドメイド展」を開催させて頂きました。すてっぷ祭りと同時開催という事もあり、当日はたくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました。久しぶりにお会いできた方や初めてお会いする方など、多くの方とお話しすることができ、私自身も楽しい時間を過ごすことができました。

今回、ご依頼が遅くなってしまったにも関わらず出品にご協力頂いた作家の皆さま、前日の準備から当日の後片付けまでお手伝い頂いた家族会の皆さま、本当にありがとうございました。

まだ不慣れなことも多いですが、後援会会員が増えるよう皆さまにご協力頂きながら「すてっぷ」を応援して行きたいと思いますので、引き続き宜しくお願い致します。

後援会へ期待、希望やご意見などありましたらお気軽にお寄せ下さい。

すてっぷ後援会会長　山口絵理

ハンドメイド展の様子

ハンドメイド展売上

作家売上合計	２４１，５５０円
法人へ寄付額	１１５，８６５円

わーくはうすすてっぷ

わーくはうすすてっぷでは、恒例となった「はたらく楽しみ企画」を今年度も実施しました。

日帰り①　ブドウ狩り
みなかみフルーツランド
モギトーレ

日帰り②
さいたま自然こども動物園

一泊旅行　福島
スパリゾートハワイアンズ
アクアマリンふくしま

外食　けやきウォーク

「はたらく楽しみ企画」を通して、違う作業班のメンバーとの交流も増え、新たに仲間の輪が広がったようでした。みんなの「あれ食べたい！」「ここ行きたい！」を集めて、今年もまた楽しい企画を実施したいと思います。

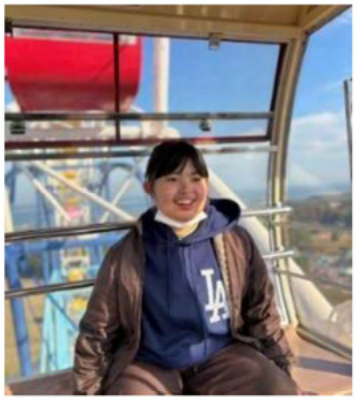
れいんぼぅかんぱに

海を臨むホテルのテラスで

下半期にはたくさんのイベントがありました。

「ファーム班旅行」　木更津三日月ホテルに 1 泊 2 日旅行。海を見ながらゆったり温泉につかって、美味しい海の幸を堪能しました。

「エンジョイ班旅行」　ひたち海浜公園に日帰り旅行。3コースに分かれてアクティブに動き、食べ歩きも好評でした。



観覧車で高い所へ。景色がすごい！

「すてっぷコーラス隊」　清水先生のもと、7 月からわーくと一緒に練習を開始。コーラスの時間は笑いあり、感動ありでとても楽しいものでした。秋にはすてっぷ祭とみんなのフェスタで発表しました。緊張しましたが良い経験になりました。

「まえばしソーシャルグッズプロジェクト」　今年度のグッズは手ぬぐいとカレンダー。アート作品で参加しました。

「利用者会合同イベント」　前橋商工会議所の会場を借りて、わーく、とらっぱ、ぴいす、れいんぼぅの総勢 100 人が集まり食事会を開催。何度も会議を重ねて企画し、当日はフレンチのコースとビンゴ、久々の仲間との交流等々、にぎやかに楽しみました。

みなさん、今年もどうぞよろしく

社会就労センターぴいす

就労支援事業（授産事業）は従来通り群馬県立女子大学の学生食堂、購買の委託運営と学内清掃（日常、定期）を行っていますが、広瀬事業所で行っていたレアメタルリサイクル作業（パソコン分解作業）はわーくはうすすてっぷに移管し、ぴいすでは行わないことになりました。数名の利用者の入退所があり久しぶりに顔ぶれが変わりました。

９月に東京方面に１泊旅行に行きました。初日はディズニーランド、上野動物園、豊洲チームラボの３グループ、二日目はスカイツリー、秋葉原、東京ドームシティの３グループに分かれ、東京を遊び尽くしてきました。１２月にはクリスマス会を行い、アマゾンギフトカード（5,000 円、4,000 円、3,000 円）を賭けてドンケツゲーム、ビンゴ、あみだくじを行い、大いに盛り上がりました。

とらっぱ

６年ぶりの一泊旅行となり、10 月 10 日～11 日に榛名・伊香保に行きました。

ホテルの窓から榛名湖を眺め、温泉とおいしい夕食で身体を癒し、カラオケ・卓球で盛り上がりました。２日目は雨の中伊香保階段街とグリーン牧場に分かれ散策をしました。

６ 年ぶりの宿泊ということもあり利用者・スタッフも初めての方が多かったので、次回はステップアップした宿泊を目指したいと思います。

Café とらっぱクリスマスイベント開催(12 月 13 日)。

７月から利用者さんとイベント会議を重ね、「子どもから大人まで楽しんでもらえるイベントにしたい」「とらっぱをたくさんの人に知ってもらいたい」というコンセプトを基に、絵本の読み聞かせや○×クイズ、窓に絵を描こう、おりがみ・ぬりえ、サンタさんに願いを描いてリースにするなどを企画し、それぞれが役割を持ち当日に向けて準備をしました。当日は会館に遊びに来たお子さん、関係者含め 50 名程のお客さんをお迎えし賑やかに開催することができました。また、絵本の読み聞かせは日吉児童館のご協力をいただきました。ありがとうございました。

会席料理でお腹がいっぱい

景品めざして射的に燃える

アイスクリーム作り体験中

Kid's Club・Little Kid's Club

Little には新しいメンバーが数名仲間入りしてくれています。新しいお友達はどんな遊びが好きなのかな？と様子を見る子、「一緒に遊ぼう！」と誘ってくれる子、優しい言葉をかけてくれる子。こども達の人を大切にする気持ちが育っている姿には目を見張るものがあります。友達と一緒に遊ぶ中からこども達は学ぶ力を育んでいきます。人と関わる安心を土台に楽しい！嬉しい！経験を沢山重ねられるご支援をして行きたいと思います。

Kid's Club では、昨年 12 月に、すてっぷカレンダーを制作していただいている上毛印刷の大澤さんに完成したカレンダーを直接届けていただきました。ウエルカムパーティーをこども達が企画し当日は私たちも驚くほどの「おもてなし」を実現してくれました。「誰かの為に喜んでもらえる事がしたい！」というこども達の思い。大澤さんは一人一人のこども達の顔を見て丁寧に声をかけてくださいました。初対面の大澤さんにどの子もちょっとだけ照れながら嬉しそうな表情をしていました。この素敵な時間はずっと思い出に残ると思います。また遊びに来てください！

今年もこども達が自由な気持ちで沢山の「好きなこと」に出会えるよう職員一同努めて参りたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

サンサンすてっぷ

昨年の相談の中から特に印象に残る事柄です。始まりは車椅子を使用して普通学級に通う小学生の「どうせ車椅子だからみんなのように窓から外が見られない。」という言葉でした。授業中に窓の外を観察してみようというものがあった時、クラスメイトがさっと出来る事が出来なかったことがあったらしく、そのような発言となったようでした。

その時、ノーヴァライズアクティブ （株式会社ミキ製）という車椅子が頭に浮かびました。マルチポジショニングウィールチェアと銘打ち、その名の通り色々なポジションが一台でとれる車椅子です。

試乗頂いたところ、嬉しそうに自分で操作しリハビリ室の窓から外を眺め、普段であれば目線が届かない棚の中身を興味深そうに見ていました。このような様子を見られた家族も購入に向けて進み始めました。

ちょっと道具を工夫することで、しょうがないとあきらめなくてよい未来が作れるのだと改めて感じました。

前橋市障害者生活支援センター

『地域での新たな生活をスタート』

前橋市障害者生活支援センターでは、前橋市の委託を受け、相談員４名で約２６０名の障害のある方やそのご家族への相談支援を日々提供しています。

昨年は、在宅生活からグループホーム入居へ繋がり、地域での新たな生活をスタートさせた方が多くいました。本人の気持ちに寄り添いながら時間をかけて入居までの相談や見学同行など行い、入居後も継続的な関わりを持つことで必要なサポートをさせていただいています。

グループホームの体験事業を利用し複数回体験を重ねた方、何か所も見学に行き、気に入ったグループホームに入居できた方、年齢とともにアパート暮らしが難しくなりグループホームの入居を決めた方、障害特性にあったグループホームがなく、なかなか受け入れ先が見つからなかったが強度行動障害に特化したホームへ入居ができた方とケースは様々ですが、入居された方からは、「入居できて良かった」「安心して暮らせる」「みんなとご飯を食べられて嬉しい」「自分でできることが増えた」など嬉しいお話を多く聞くことができました。ご家族からも「安心して生活できる場所が見つかって良かった」等のお話がありました。

今年もグループホーム利用の相談が多くなっているため、これからも安心して地域での生活が送れるようサポートしていきたいと思います。

ワークセンターまえばし

ワークセンターまえばしでは、余暇支援として就職された方へ月に 1 回イベントや勉強会を開催しています。年に 1 回は日帰り旅行へ行きますが、昨年は劇団四季ミュージカルを 23 名で観に行きました！

昼食は 46 階で絶景なレストランで参加者と和気あいあいと美味しい食事を食べ、最高峰のミュージカルを堪能しました。

今年も参加者の「働く」一つの楽しみに繋がるように共に「学ぶ」・「楽しむ」を企画していきます。

サービスステーション

障害のある方がいる家族に突然、困ったことが起きた場合、電話やメールで問い合わせてもらえれば、できうる限りの支援を行います。少しでも家族や障害を抱えた本人の助けとなるならば、お手伝いさせてもらいます。

そんなある日、利用者家族から緊急電話が入りました。「家族が救急搬送されることになった。本人はまだ寝ていたので起こさず、家に置いてきた。近くに住んでいる本人の兄弟が自宅に駆け付けてくれることなっている。でも、午前中は仕事の都合がついたが、午後はどうしても休めない用事がある」とのこと。そこでサービスステーションが動きます。

支援を行うスタッフの勤務時間もあるためすぐには迎えに行けませんでしたが、お昼前には迎えに行き、兄弟から引き継ぎ、兄弟も午後の用事に間に合い、ご本人はステーションで落ち着いて過ごすことができました。

その後家族の容態は落ち着き、ほどなく退院。今は自宅で静養されているとのことです。

ヘルパーステーション

ヘルパーステーションすてっぷで提供している支援の中に、『行動援護』というものがあります。このサービスは、重度の障害の方をその特性を踏まえ、様々な配慮をしつつ、安全に外出を支援する福祉サービスです。

これは行動援護を利用されている家族からのお話です。「ある日、親戚が亡くなった。告別式には本人は参列できないので、その前にお別れをさせようと家族で出かけた。その親戚宅にはこれまで中に入ることができなったが、親戚とお別れしようと家族が声をかけると、家の中に入り、その親戚の顔を見ることができた。お線香まで上げることができた。」と話を聞かせてくださった家族は少し満足そうでもあり、穏やかでした。

行動援護の方は、行動を制御するのが難しいですが、きちんと本人に分かるように話ができたり、状況の説明ができたりすると落ち着いて過ごすことができます。

この方もこうやって少しずつ家族と同じことができ、家族と共有できることが増えていくのかもしれません。

ケアホーム RUN

2025 年度は新人男性職員も加わり、訪問看護ステーション、訪問リハビリ、訪問医療、ヘルパーステーション、後見人さん、相談員さん、日中活動事業所、そしてご家族の皆様と協力しながら、28 名の利用者様の日常生活をともに過ごしてきました。そして、私たちのホームに起きた嬉しい変化の一つが『ささえ手』の導入です。

★導入の背景

利用者様が車いすからトイレやベッドへの乗り移りが困難になり、より安全な環境を整えるために導入しました。

★ささえ手のポイントは、握りやすい形状で、立ち座りの際のふらつきをしっかりガードできます。

★実際に使っている利用者様の声、職員の声

「いい」「痛くない」「乗って移動するのもいい」「安心」「最初に試す時も心配しなかった、説明を聞いたから」など

職員から「明らかに腰の負担は減りました」

まだまだ使う方に合わせて細かな調整は必要ですが、利用者様も職員も楽で安心につながったことが一番でした。今後もより安全な環境作りを念頭に置きながら、楽しい暮らしを目指していきたいと思っています。

ありがとう

〇太陽誘電株式会社、太陽誘電労働組合様から令和６年度年末義捐金の配分を受け、令和７年９月までにカラオケセットとポータブルスピーカーをサービスステーションで購入させてもらいました。利用時間が短くカラオケに行きたくても行けない場合やステーション内で楽しみたい利用者のために、購入しました。大事に使わせていただきます。

また、令和７年度年末義捐金の推薦もいただき、申請を出させていただきました。今回も申請が通りますようお願いしています。

〇群馬県こんにゃく組合様と前橋青果商組連合会様からこんにゃく製品と果物の寄付を頂きました。法人内で給食やおやつとして頂きました。

〇こども達が描いた絵や数字を、今年も上毛印刷様にカレンダーとして形にしていただきました。担当の大澤様には、完成したカレンダーを直接 Kid's Club まで届けていただき、梱包された箱からこども達自身が取り出す体験もさせていただきました。

目を輝かせながら喜ぶこども達の姿に、私達の喜びもひとしおでした。上毛印刷様ありがとうございました。

2025 年度分後援会費ありがとうございます

小澤恵子様　高木伸之様　戸所清様　須藤幸男様　長谷川恒子様
新井豊子様　河内那保子様　海老沼良矩様　石橋英子様

☆２０２６年度後援会費の納入方法☆

４月になってから
お願いします

後援会費　　個人会員　　3,０００円～　（１口3,０００円以上）
　　団体会員　１０,０００円～　（１口１０,０００円以上）
上記の会費を直接後援会事務局（法人本部）へお持ちいただくか、
同封の振込用紙にてお振込みください。
口座番号　００１２０－４－１９２２４２　加入者名　　「すてっぷ後援会」

すてっぷへの寄附は控除対象です

社会福祉法人すてっぷは、租税特別措置法における要件を満たしていますので寄附金額は税金の控除対象となります。寄附をいただく際には寄附付申込書の記入をいただき、控除対象寄附金受領証明書を発行しています。

発行　社会福祉法人すてっぷ　PC 班
〒379-2164 群馬県前橋市東上野町 136-1
Tel 027-290-6161 Fax 027-290-6162
HP https://s-step.com E-mail contact@s-step.com

最新の情報はこちらから